

實末 相續歸依し奉

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

分四斗八升 亥三夕

分四斗三升 亥

分七升

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

一上知三回以下

資料内容

①

はる相統護状

出典資料

年 月 日

相續護状之事

宮不

一、上畑三畝貳拾貳步

分四斗八升五合二勺

同

一、上畑三畝六

分四斗壹升六合

狐窪

一、中畑貳拾壹步

分七升

一、無尽甲金四拾兩也

但シ西保中村上組与  
即右衛門殿無尽式

与  
子

No. 2

(20×10)

資料内容

出典資料

年 月 日

市川村はる女持

一、山梨郡市川村古屋勘兵衛妹はる女儀、同村

古屋固兵衛殿隠居古屋五左衛門殿世話

人二面西保中村先吉明地元右衛門殿妻二

縁付長に住居候儀、右元右衛門儀病死仕

其後一子も病死仕残り子とも無之候、右

二付、當元右衛門殿并御親類・組合同

御談之上、前書高并無尽金甲八両はる女

貫請、跡相續之儀者、元右衛門江讓渡シ、

私共儀者実家江立歸り候上者、重而右一



何の文字を  
書いたか  
を  
示す印

先代  
先吉明地元右衛門  
當元右衛門  
二の野元右衛門

No. 1

(20×10)

資料内容

出典資料

年 月 日

④文字横の「ミ」  
は「ミ」字の横消され  
て「ミ」を示す

件遺失為「無之、讓狀渡置候、尤蚕糸之節  
猶又作物引取ニ者「當一ヶ年限出入可致候、  
依而一同連印為取、皆仕候如件、

明治四年  
市川村

明治四年  
市川村

明治四年  
市川村

明治四年  
市川村

明治四年

明治四年

同

古屋勘次衛門

同

同五左衛門

(20×10)

資料内容

出典資料

年 月 日

西保中村

戸主

古明地元右衛門

牧平村

親類

堀内源左衛門

西保中村

同

團武右衛門

同

(20×10)

資料内容

年  
月  
日

系 系

出典資料

同  
三  
左  
衛  
門

$$\sqrt{12}$$

古  
明  
也  
喜  
矣  
衛

組合代兼

古明地伝有衛門

親類

同重郎矣